

畦畔ノズルを用いた水稻用農薬散布における ドリフト調査および防風ネットの飛散抑制効果*

青木こずえ・市原 勝・佐藤敦彦

Drift of Agricultural Chemicals during Spraying of a
Nozzle, and the Effectiveness of Wind-Break Nets

Kozue AOKI, Masaru ICHIHARA and Atsuhiko SATOH

要 約

畦畔ノズルを用いて動噴手散布で水稻用農薬を散布し、散布区域外に配置したオクラ、ニラ、ネギ、葉ジソへのドリフト影響を調査した。また、飛散抑制資材としての防風ネットの設置効果についても検討した。

1. ドリフト率は境界からの距離が離れるにつれて低下した。
2. 境界に防風ネットを設置することによりドリフト率が低下した。特に境界付近で顕著な低減効果が確認された。
3. ポット植えのオクラ、ニラ、ネギ、葉ジソを用いたドリフト調査では、ドリフト率に対応した残留が認められ、防風ネット設置により一定のドリフト低減効果が確認された。
4. 畦畔ノズルを用いた動噴手散布では、防風ネットを設置した場合でも、境界から 10m 離れた地点でニラから一律基準値 0.01ppm を超えて検出された。

キーワード：ドリフト率，畦畔ノズル，防風ネット，ニラ